



岡山の将来を決定づける年を、迎えて 誰にも拘束されない決断を！

(株)馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

平成 17 年の新春。明けましておめでとうございます。心新たに書きますので、倍旧のご支援の程お願い申し上げます。

1. よく学びよく遊べの心意気

学生の学力低下が著しい。学生の仕事は何か？勉強をすることだ。それに応えるような環境作りに励むべきである。ゆとりとは、勉強しないことと勘違いしているのでは…。

二極化は、学生の学力の偏差値にも及んでいる。勉強しなくても定員割れで困っている学校が多いので、お客様として入学させてくれる。だから苦勞しなくてもよいと思う子。

反面、やたら少子化のため子供に投資をして予備校をはじめ、習い事などを詰め込まれてふらふらになる子。受験技術を教え込まれるのもどうかだが、携帯電話に懲り、異性との交際やアルバイトに熱中するのも困る。

要は、基礎学力をしっかり身につけて欲しい。何をやるにしても目に見えない基礎ができていないとダメ。人の言動は、その人の氷山の一角の人柄の表れである。隠れた部分の厚みで、言葉や振る舞いにそれとなく人格が表れる。

昨年末に、生まれて初めて東京大学の駒場キャンパスに行った。「東京大学先端まちづくり学校」で講義を受けるためだ。全国から集まった老若男女にまじって机を並べた。積極的に質問をしたら、名前を覚えられてしまった。私も講演をする機会があるが、質問があれば盛り上がる。

銀行の偉い社長さんが、岡山で講演した時に、質問者がいなかったため「岡山の人は私の話に興味がないようですね」と、ジョークとも皮肉とも取れる独り言を言って退席された。やはり、勇気をもって“質問魔”と思われても脳みそに汗をかくことだ。時間とお金を使って行くのだから、空手で帰るな！と心すべきだ。

2. 過去と決別して大局の把握を

岡山の発展の礎になる多数のインフラ案件について、決定しなければならない重要な年を迎えた。岡山国体関連の岡山駅西口広場や再開発事業は、順調に進行中。

岡山ドームを中心とする操車場跡地利用が問題。医療など国際的視野に立ち、世界に通用する施設といえ、岡山大学医学部等の分院を誘致することである。現在の鹿田キャンパスは満杯

状態で、岡大の方からも分院の打診があると聞く。岡山市民病院を期待する声もあるが、中心市街地には、総合病院が 2 つはある。即ち、川崎病院と市民病院である。市民の選択権は残すべきだ。

岡大の分院(主従の関係は、逆転してもよい)を置いて、国際的なステージに高めることだ。新駅もできるのだから、付属病院が開業すれば便利になる。基礎医学をはじめ、主要な部分を移転すればよいのでは…。周辺の開業医等とは、住み分けをすればよい。

さらに、市民病院はどうするか、川崎病院はどうなるのか、あるいは天満屋バスターミナルを電車通りに移転するなど、岡山中心部のインフラ整備に関しては避けて通ることが出来ず、最終的決断の検討をしなければならない。いずれにしろ岡山の礎になる重要な年が始まったのは間違いない。

岡山の 100 年後の姿を夢みて、広く意見を集め、後世の人たちに先人の苦勞をねぎらってもらえ、かつ、いいまちづくりをしてくれたと評価されるものを残すべく努力をすることだ。みんなが私利私欲を捨てて、知恵を出し合って研究・調査し、大道を間違えないこと。

(16・12・20)

正月はいかがでしたか？年末、岡山地方では珍しく雪が積もり、高速道が通行止めになるなど混乱しました。私は、大晦日の夜行バスで伊勢神宮参拝へ。伊勢湾をクルージングする船上からは、初日の出が拝めました。寒かった。雪が上がって日の出に会えて行った甲斐があった。“今年運がよいぞ”と内心思い、喜びました。深夜に伊勢神宮の外宮へ参拝しましたが、厳かな雰囲気の中に神秘さを漂わせており、本当に「神」様は存在するのではと思いました。観念でなく体で感じたのです。このような体験も貴重だと思いますが…。

今年、はりきって節制しつつ少しでも高められた文章を書きたいです。よろしくご批判等々をお願いいたします。

警察と金融機関は、一心同体で動こう 一刻を争う犯罪に即応せよ！

(株)馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティブランナー
馬場 勉

元旦は、伊勢湾の海上から初日の出を拝んだ。耳搔き一杯の塩(毒)を盛ることを常としたい。砂糖(薬)がいっそ引き立つからだ。

1. たかが年賀状されど年賀状

年末年始の、年に一回の恒例行事。虚礼と思う人もいる。出すのは手がかかって大変だが、もらうのは楽しいものである。パソコンが進歩したため、名簿一覧表が即座に出てくる。チェックをしながら、この人は今どうしているのだろうか、とか、お世話になっていたが亡くなったという連絡を受けた人、またここ数年便りがないため元気なのだろうかと心配しながら出す。

それにしても小さい字で多くのことを書いている人もいれば、長年ワンパターンの人もいて、それぞれの個性が表れて面白い。時代の流れ、即ち流行もあるようだ。

平素、疎遠にしていた人を思い出させてくれるまたとない機会でもある。たかが年賀状、だが、されど年賀状だ。それなりの効用はあるように思う。ずいぶん時間をかけて作成されたであろうと思われる労作もある。

ちょっとした事務所であれば名刺な

ど自分流に作ることができるから、似顔絵か写真入りにしてほしい。名前だけでは覚えきれないので、顔写真等があればアピール度が違う。同じ作るなら個性のあるものを作れば、費用対効果が期待できるのではないのでしょうか？

それにしても一昔前からみればずいぶん省力化している。この調子であれば日本国民が「少子時代」になっても大丈夫。人口が減れば国力が衰退するなどしなくてよい。人口が少なくなっても頭脳で勝負すればよいのである。付加価値の高い仕事で、収益力を高めればよい。高齢者を労働力不足の代替として活用すれば、人手不足を補うこともできる。そうすれば、元気で病気にもならず健康なお年寄りが増えて、介護や医療費の削減にもつながるため一石二鳥以上の効果が期待できる。

2. 予防に勝る手段はない！

凶悪犯罪が、よく起きる。すぐにも捕まえられると思うような犯罪でも迷宮入りしたり、解決に年月がかかる。警察官の意識改革が必要。

携帯電話を使った犯罪など、現代を反映したもので、模倣される可能性が

高いから早く捕まえることだ。オレオレ詐欺や車上荒し(空き巣)などは金融機関との連携が必須である。ほとんどの人が銀行などのカードを持っている。振り込まれたお金は、カードで引き出される。また、盗んだカードは暗証を読み取り、即刻引き出すのだ。

警察に被害届がでたら、直ちに銀行等へ警察官が停止の手続きをとるべきである。本人に停止手続きをさせるようではカード社会においては四六時中引き出すのでダメ。暗証番号の読み取り機があって、お茶の子さいさいだ。一刻を争うのである。

また、オレオレ詐欺のような「振り込め詐欺」は振込先が判明しているのだから、銀行等は直ちに支払停止の処置を取るべきである。警察との協力体制で、できることである。犯罪予防にもっと深刻・真剣に取り組むべきである。連絡を密にして即座に対処できる体制をなぜとらないのだろうか。そんなに難しいことでもないと思う。

被害者は気が動転しているから頭がまわらないので、交番等からすぐ銀行等に連絡できるオンラインをつくって停止できる体制を構築すれば防げる犯罪。

(17・1・3)

正月が終わり、平成 17 年の仕事が本格的に動き出しました。どのような意気込みでとりくまれていらっしゃいますか？

1月8日に山陰地方の出雲大社等にお参りに行きましたが、人出は少なかったようです。大雪警報が流されていたため、平素雪の少ない地方の人は敬遠したのが原因でしょう。ところが、晴れのいい天気でした。予報は難しいのですが、当たるも八卦、当たらぬも八卦では困ります。私を含め専門家は勉強する必要があるそうです。

思うに『私は暇なのです』。だから、自分で色々なことを考えだして動いているのだと分析しています。みなさんは、大いに私を使ってください。御用聞きをいたします。本業の不動産鑑定はもちろん、その他何でもかまいませんから、遠慮なく申し付け下さい。

今年も、どうぞよい年でありますように、御祈念申し上げます。

平成 17 年 1 月 11 日 馬場 勉

すべての道は“観光”につながる！ “おもてなし”の心がありますか？

榑馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

東大寺二月堂のお水取りのニュースが流れると“もうすぐ春ですね”。あと数回は寒い日もあるけど、確実に春は近づく。

1、政令指定都市を目指せ

岡山市は、灘崎町・御津町と合併して約65万人余の地方都市になる。70万人になれば、政令市になる。政令市になればどのようなメリットがあるか？やはり規模の論理が魅力。一定のボリュームがないと存在感がない。政令市になれば、ひとまず大人の仲間入りができることになる。岡山市も交通の要衝として基幹都市にならなければ、所詮は地方の田舎都市であり、犬の遠吠えで終わるのがおちである。

周辺市町を取り込む作戦に出ているが、かき集めるだけでなく、歴史的な流れや結びつきというものを重視する必要が肝要である。にわか親族として仲間入りしても、うまくいくかどうか疑わしい。

昔から、備前・備中・美作という古代の行政区画が形成されて交流があった。備前の国の地域を重視すれば新しい瀬戸内市(邑久・牛窓・長船の邑久郡三町)が岡山市と合併するのが、最もお

さまりがよいと思う。過去からの伝統的なつながり、街道、川など地の利を総合的に考え合わせれば早急に政令市を誕生させることが中四国地方の拠点としての存在感をアピールできる。まちづくりの観点からもぜひ、広域行政のメリットを享受すべきである。

2、旅人をとりこにせよ

岡山に行ってみよう！いいとこだよ岡山は！岡山市はどこにあるのかって、東京から3時間余で来れるでえ〜。だから、交通の便はよいところだよ！魚、果物の食べ物は、うまいし、夜の街が低空飛行をしているのを除けばいいことばかりだね。そんなにいいところなのになぜパツとしないのでしょうかねえ〜。雪もなく交通の要衝で申し分ないためハングリー精神が乏しく、暇な人が多いのでしょうか？そこで、暇人であるワシがおもてなしの掛け声ばかりの岡山を考察する巻だよ〜。時間のある人は読んでみたらええで〜。

先日、鹿児島知覧へ特攻隊の記念館に行き、若い青年の熱い心情に感銘を覚えた。それ以上に感動をして驚いたのは、桜島・知覧等の定期観光のバス路線が三社競合になる4系統以上あり、休むことなく毎日運行されている

ことである。数名の乗客でも運行されていること、と、バスガイドさんが、地元の大先輩に対して心から尊敬の気持ちを持っていること。郷土の誇りである西郷隆盛先生、大久保利通先生の名を上げながら業績をとうとうと述べる。そこには誇張もなく、真摯な気持ちからの発言であるから、聞く者としては深く感激した。だからこそ書いている。

岡山の定期観光バスは、毎日ではなく、季節限定である。やはり地域の風土の違いを感じざるをえない。

ぜひ、定期観光バスを毎日走らせてください。継続は力なり。信頼につながり、地元の協力も得られます。観光ルートも“脳みそに汗をかく”まで考えれば名案が浮かびます。

また、鹿児島には「郷中」という組織があり、下級武士が居住していた限られた地区から、明治維新に活躍した人材を多数輩出したことは特筆に値する。思うに「薩・長・土・肥」の出身者が、現在の日本の繁栄の基礎を築いた。いずれも海の地平線から大海原が広がる地域性を有している。外国との“開明政策”をとりいれた若者たちであった。変革期の今、岡山の老若男女は立ち上がろう！ (17・3・4)

早いもので3月も半ば、これからは転勤・卒業・入学・入社など、あわただしい時期を迎えます。「潮目」という事象があります。個人的にも経済活動においても世の中全般において20~30年に1回のヤマバが“ただいま”であると認識しています。

今は、変革の時です。世の中が落ち着いてくると平穏になり、魚が餌を食べないように、すべてが落ち着いてくるだろうから、今がチャンスの時。この機会を逃さずに、高い目標を掲げて果敢にチャレンジしようではありませんか。

尚、今回は「くらしき宅建」に掲載のコラムが新たに追加されていますので、弊社のホームページ <http://www.babakanteisho.co.jp> にアクセスしていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。また、弊社は若手の資格者も育ち、環境整備も整ってきています。ご愛顧の程をよろしくお願いいたします。

平成17年3月10日 馬場 勉

交通が交差する岡山は栄える！

昔から繁栄する所は今も変わらない土地柄

(株)馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティブランナー

馬場 勉

雪が多かったようで、桜の開花も遅い。蒜山・大山には残雪が多かった。夏場の水不足の心配はないだろう。

1. 困ったことです

新札になって同じような色合いのため、よく数字を見ないと新旧、あるいは1万・5千・千円札かを間違える。偽札防止は分かるが、色だけの判別で内容が分かるものにしないと、お札をじろじろ見て印象を悪くする。レジ係も大変だろうと思う。

新幹線がよく込み合う。小さい子供が1人1席を独占していても親は知らん顔、年寄りが近くに立っていてもだ。車内アナウンスをしっかりと欲しいものだ。他の乗客が言えば、にらまれるのが関の山。また自由席をもっと増やす必要があると思う。時間に拘束されず、自由に乗車できるのが魅力。本数も増大したのでいつでも自由に乗れるのがよい。

ただ、聞くところではJR東海を利用する人は指定席とグリーン車を求める人が多くて、JR西日本の人との行動認識に落差があるため調整が難しいんだそうです。いわば、都会人と田舎者の違いということらしい。

服装が気になるのは私だけか。テレ

ビで“時の人”になった若い人は既成の社会風俗を否定するところからはじまった。にわか有名人だけに限らず、タレントの人の中にはいろいろなファッションで出る人もいるからそれはそれでよいのだろう。時代感覚が遅れているのでしょうか？

2. 郵政民営化の波紋

郵便局の対応が良くなった。「売ってやる」から「買っていただく」ということだろう。危機感がそうさせている。大きな周期で世の中は変化するから、変革のときに気合を入れ直すのも大切だ。

簡保の宿をよく利用するが、これらの大部分が統廃合されるようだ。取り潰せばいいというものではない。楽しみにして活用していた一般人にとっては遊ぶところ、あるいは休養するところがなくなる。民間の施設を利用すればよいという人は、あまり公共の宿泊施設を利用したことのない、庶民生活を知らない偉い人たちで、下積み層の苦勞を知らない人たちである。

簡保の保険をかけていた人には、年1回ほどの旅行に連れて行ったのが廃止された。年1回を心待ちにしていたおじさんやおばさんにとっては楽しみが

なくなった。“ぼけ”が進むだろう。雇用面からは失業を増やし、お金の循環を断ち切るのだから不況に拍車がかかる。エライ方々が郵便局が諸悪の根源と決め付けたが、失うものを考えなかったは残念。

3. 人は、よい所に住む

岡山には吉備文化が芽生え、縄文・弥生時代から岡山平野には人が住み着いていた。岡山市内の津島や鹿田辺りには、遺跡や住居跡が多い。これは人が住み着いていたのだ。

岡山は、交通の要衝で肥沃な農地・海の幸・山の幸に恵まれていた。そして現在は鉄道や道路などのインフラは整備されているのに、なぜ発展しないのだろうか？恵まれた裕福な都市が群雄割拠しているため、統合が難しいのだろう。

時が来るのを待つしかないとも言えるが、事務の統合などによりスケールメリットを追求しているため、経済的に聡い面もある。いずれにせよ、政令指定都市を目指す必要はある。政令市になったときのメリットを市民に納得いく方法で説明することが大切である。理解すれば解決は早い。急がば回れ。

(17・4・5)

花見は、いかがでしたか？昨日の春雨、これで、今年のソメイヨシノは終わりました。まだ、花見をしていない人は、県北か京都や大阪、あるいは北の方へ行けばこれからでもまだ時間的に余裕はあります。

私の予見どおり、中国で暴動が起きました。日本がターゲットのようですが、表面的にはそうかもしれません。しかし、本質は貧富の差による反政府運動の流れが根底に潜んでいると思います。内乱になる危険がかなり高いのではないのでしょうか。日本企業は、中国進出のリスクを真剣に考え、不測の事態の発生の可能性を覚悟しておくべきでしょう。安い人件費に乗じると、日本は怖い目(しっぺ返し)に遭うかも知れませんね・・・。

岡山県財政の健全化をめざして 副知事の代わった今が正念場

㈱馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

新緑の頃は、動植物にとって、最も生命力に富み、活力がみなぎる時。人間様も元気ハツラツ、行動しようではありませんか。

1. 困ったことです(その2)

明治初期、西洋文化を取り入れるのに、当時の先達は努力した。例えばエコノミーの『経済』は、「経世済民」からあみ出された翻訳である。漢文の素養があった。

しかし、最近の官公庁をはじめとする用語には、日本語に翻訳する努力が足りない。色々な意味に取れるような横文字も多い。やたらに横文字を使用する人がいる。自分を飾っているのか、自分の考えをはぐらかしているのか、格好がいいと思っているのか、理解に苦しむ。日本人同士は日本語を使うようにしましょう。

公衆電話が少なくなった。携帯電話を忘れて外出したときなど、その感を強くする。また、公衆電話代は硬貨を準備するのが大変。硬貨の落ちるスピードが速いため間に合わない。高齢者や携帯電話を持たない人は、困る。収益性や効率のみを追求する世の中はどうかと思う。

ニッポン放送、フジテレビ、ライブ

ドア等による株の争奪戦は、和解となった。マスコミが野次馬根性丸出して騒ぎすぎたのではないか。カネ・カネ・カネの話だった。株に興味のない者にとっては、トップ記事に付き合わされて疲れました。

私が、心配するのは世の中がすべてカネだという考えの蔓延。ホリエモン殿の人間形成が、どのようなものかは知らないが、「カネで女性は自分の思うようにできる」という発想は未熟だ。お金だけでは、女心は買えません。修業が足りないと思う。

インターネットを操って若い人が株にのめりこむ様子がテレビなどで劇場化されていた。これも困ったことです。株や先物取引で失敗して財産を失った人たちも多い。優秀なスタッフをかかえている金融機関等でさえ、「為替」などで失敗している。

2. 特別調停による清算を

岡山県の借金が1兆円(県民1人当たり50万円以上)を越えている。仮に、金利2%としても年間200億円(1日当たり5000万円)の新たな債務が発生する。民間企業において有利子が1兆円を越えると、金融機関等は不良債権処理に血眼になって対策を考える。官公庁の

場合は、税金で補填するから倒産はない。しかし、深刻に対策を考えないと先延ばしは、すでに限界。

そこで、県の土地開発公社及び住宅供給公社は、所有する土地などの財産を市町村にタダ、あるいは格安で譲渡して、解散(特別清算)をすること。市町村が所有すれば、固定資産税の賦課権限を付与されているから、産業振興あるいは人口増大などの大義名分の旗印のもと、固定資産税の減税等の措置により優遇政策を取ることが出来る。県が自らやる場合、固定資産税の課税を左右することはできないが、市町村の場合にはできる。

県は、今まで長い間売る努力をしてきたにもかかわらず、うまくいかなかったのだから、視点を変えて市町村にやらせてみたらよい。県はアドバイザーとしてサポートするなど、県民のために汗をかくことだ。

市町村は、色々な方策を練ればうまくさばけるはずである。岡山市は、すでに所有する住宅地や工業地をさばいたノウハウが、蓄積されている。工業団地に刑務所を誘致する時代である。ゴミの処分場等々に転用してもよい。温泉プールなど充分な住民サービスを担保するのが前提の話だが……。

(17・4・25)

初夏。先日、韓国へ行きました。170人余の大変な盛り上がりだった。岡山市の現在の実力が、如実に顕在化していた。岡山市民友好親善訪韓団として参加した際の印象である。5月5日から7日までの2泊3日の旅だったが、得るところは多かった。

主たる訪問先は、富川(ブチョン)市。ソウルへ移動して国会議事堂や大統領官邸(青瓦台)を見学した。食事は、キムチや韓国の代表メニューだが、日本の焼肉の方が口に合うようだ。ハングル語だらけで街並はさっぱりわからず、高層アパートと広い道路がやたらに目に付いた。人口密度は超過密で、緑はほとんど無かった。岡山の人口密度は10haに一人と小さく、緑が多くて、住むのには最適なところだと再確認した。

平成17年5月11日 馬場 勉



岡山県警の存在感を全国発信したが・・・ 広域犯人から見れば魅力のある街

(株)馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティブランナー
馬場 勉

6月。梅雨入りも間近。紫陽花をはじめ、趣のある草花の季節でもある。生氣を取り戻すため生きとし生けるものが一服する時だろう。

1、快拳と気の緩みが同居

新幹線が岡山駅に近づくと高層ビルやマンションがニョキニョキと目立つようになった。裏を返せば、岡山の経済力が飛躍的についてきた証左でもある。

また、高速道路が整備されているため交通機関の要衝であり、さらに鉄道網は支線も多いため、犯人の逃げ足が確保されている。だから、広域窃盗団などからみれば、荒稼ぎ目的の恰好の活躍できる適地である。

先日、岡山市内の大元地域で、深夜中国人の6人組による広域窃盗団が、物色中に岡山県警が職務質問に始まる一連のピストルの適法な使用、さらに旭タクシーの協力等により、4人を捕まえたが、しかし2人は逃走中である。

たまたま当地域は、空き巣による放火事件が多発しているため、重点捜査を強化していた矢先であった。「飛んで火に入る夏の虫」ではないが、大捕り物帖になった。大型かつ悪質な広域犯罪集団は、都会から地

方へ出張して常習的に犯罪を行っている。

一旦捕り逃すと捕まえるのは、至難の業。やはり、水際作戦で食い止めるのが最良の方策。防犯に勝る対策はない。特に、新興住宅地域は侵入窃盗に狙われ易いので要注意。

岡山県警は全国の警察に存在感を示した。緊急逮捕は、人とお金の最小限の投入で経済効果(犯罪摘発の費用対効果)は大であることがわかった。

よくやったと思うとともに、些細な事犯も疎かにしないで取り組んで欲しい。それが、大きな事件や事故の抑止力にもつながるとのことである。

それにしても、いつ非常召集が、かかるともかぎらない警察官や消防署員、あるいは、県知事や市長、その他幹部の人たちは、深酒は出来ないし、常に緊張を強いられるので大変なことですネ。ご苦勞様です。犯人を、不手際で逃走させたというおまけまで発生したが、凶悪犯人ですから気を許すと隙を見て逃げるのは人間の本性です。功罪半ばか・・・。日夜犯人を追って懸命の努力をされ大変でしょうが、岡山の安全・安心の確保のため、さらに一

層ガンバッテほしい。

2. ありがたいことです

面識のない方から「あなたの顔をよく拝見しています」と言われて、記憶力の悪い私のことだから、どのどなたかと一瞬考えるのですが、本誌のこのコラムを読んでくださっている読者のお方と分かり、恐縮しています。大量の情報が、毎日刻々と流れていきます。すべては読みきれずそのまま積んでおくか、処分されるという運命になっていますが、その中において、かなりの人々に読んでいただけていることは、ありがたいことです。読者の皆様を大切にしなければいけません。

丸いものも三角に思えたり、四角に見えるものですから、受け止める人によって印象が変わってくるので、気を引き締める必要があります。

日常生活全般にわたり、広く見聞したことを、大きなぶれがないように心掛けながら執筆しています。岡山の魅力アップのために貢献できているならば、大変嬉しいことです。平素の読者の皆様に感謝申し上げます。健筆を揮わせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。(17・6・3)

梅雨に入りましたが、初夏のような天候です。紫陽花をはじめ梅雨時に生き生きとする草花があります。私も一息入れて一服し、生氣を取り戻したい気持ちです。

環境省の環境事務次官の炭谷茂さんが、3年間休日を利用して大阪市西成区の「釜ヶ崎(あいりん地区)」に通い続け、ホームレスの人々の自立について実地調査等をしている様子がテレビで放映されていましたが、トップクラスの高級官僚のライフワーク。変わり者と言われ、外部からの圧力がありながらも、“お金とサービス”を提供し続けた行政の考えは間違っていたのではないかと

「働きたい」という人間の欲求を受け入れる場をつくるのが、本来追求しなければならない行政の仕事ではないのかと、自問自答し、努力されている姿勢に感銘しました。

平成17年6月13日 馬場 勉

改(あらた)めて益(やく)なき事は、 改めぬをよしとするなり。

(株)馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー

馬場 勉

去年は台風、今年は空梅雨。集中豪雨が追い討ち。何だか変です。何が原因なのでしょう。中国のエネルギー消費激増が遠縁かな？

1. 生存する自然人に限る

個人情報保護とうるさいくらいだ。何かにつけて世の中は個人情報がどうのこうのと講釈が多い。同法の保護の対象は、現に生きている個人に限るのである。従って、死んだ人や会社・官庁・NPO・指定暴力団など、自然人でない組織は保護の対象外である。

便利な社会になったから、機械に大容量の情報を記憶させ、保存・管理することが出来るので大変よろしい。しかし、コンピューターなどに侵入し破壊したり情報を盗んだりする。快感を楽しみ、また犯罪まがいに使う者がいるから、始末が悪いのも現実である。しかし、世の中が少し神経質になりすぎている面もある。

自ら選挙に出て、公職に就いている組長さんや公職に就任している人たちは、一般人からどのような人物か知る必要もあるので、個人情報を公開する必要がある。

例えば公職選挙法に掲載されている程度の情報は公開すべきだろ

う。もし、嫌であれば公職に就職しないことだと思う。審議会などの構成メンバーが、どのような分野の専門家であるか、あるいはどんなステータスの人かなどは公開する必要がある。やはり公職である以上は公開されても仕方がないのではないかな。どういう立場の人がどんな考え方をしているのかなど、社会から見れば興味がある。仮に、色々批判的に言われる人がいたとすれば、その人は存在感があるのであって、委員になっても話題にもならない存在感のない人がいるのも現実。個人情報保護と情報公開はどちらも大切で、両者とも有効活用されなければならない。そして、調和できる接点をどこに求めるか常識的に見出さなければならない。

2. 「改革ブーム」を考える

「何でも変えればよくなる」と思っているふしがある。鎌倉時代の後期に吉田兼好さんが断片的に書いた随筆が、いわゆる「徒然草(つれづれぐさ)」である。その第127段に『改めて益なき事は、改めぬをよしとするなり』と論破している。

小泉総理は改革という言葉に常に使って、国民は改革がよいことだと思っ

ている人は多い。私は、改革は必要だと考えている。

ただ、何でもかんでも改革ということにはならないのではないかなと思う。改革によって得るものも多いが、失うものもまた多い。改革の手続きにエネルギーを使いすぎて、法律が成立した時には骨抜きになり虚脱状態になってしまっ、変えなかった方がよかったのではないかなと思われることだってある。

改革するときには、具体的かつ影響力を与える重要な中核だけに集中して行なうことだと思うが……。兼好さんが言っているように「改革してもあまり利益がないのならば、変えないほうがよい」ということだ。

このことは私たちが何かをやる場合の選択の指針にもなる。先延ばしといわれるときもあるが、必ずしもそうでなくて損益のバランスの上に立って、利益が見込まれるものに限定すべきである。

消費するエネルギーが大きければ比例して、失う時間とお金も大きくなる。仮にうまくいったとしても、たいして役に立たないということにもなるから。先達の兼好さんはいいことを言っていますね。流石です。

(17・7・3)

梅雨明け間近。夏はどう過ごされますか？私は海外研修の旅が入っています。

十人十色といいますが、郵政民営化法案審議は、賛否がほぼ半々。ふと思いだしたのが、吉田兼好さんの上記本文の考え方でした。いつの時代も同じ事が繰り返されます。

若・貴に代表される相続問題、政権争奪戦、愛憎渦巻く男女関係など、古今東西あいかかわらず人間の心は、進歩せず変わりません。あくことなき、争いを行なっていると思えばいいのでしょうか。そういうように観念すれば気が軽くなりました。

「簡保の宿」はよく使いますが、地元の人々の雇用がなくなれば田舎は住む人がいなくなって、寂れる。郵便局・農協がなくなれば、コミュニティーは崩壊します。都会人の考えだけでは、日本は成り立ちませんが…。収益性のみからの枝葉末節的な話が多すぎます。

平成17年7月12日 馬場勉

基礎知識の強化を！

政令都市になるための前提条件

8月。暑中お見舞い申し上げます。ゆっくりもできないでしょうが、お体を大切に。

1. コスタリカ等紀行

先日、米国の西海岸沿いを、シアトル・ペンドルトン・ロス・ポートランド・コスタリカと急ぎ足で訪問してきました。メジャーリーグを観た。イチローは、シアトルで大変な人気者。イチローのフットワークのよさは抜群。見せ場をつくるからスターの素質は十分。夜9時頃まで明るかった。

コスタリカは、日本の風土によく似ていて、気候も温暖。暮らし易いようだ。お金持ちにはいい国だ。間接税が主流だから、税金がかからず、物価は安い。観光立国。ただし、貧富の差は大きい。役所など、ピストルを持った立ち番がいるが、治安は悪くない。中南米諸国では、最も安定しているため、退職後の老後を過ごすアメリカ人が多い。日本人も住み着いている。スペイン語が、話せなければハンディーはある。

2. プロ意識をうえつけよ

岡山市は政令指定都市(人口70万人以上)を目指して市町村合併を模索中である。隣接市町との合併に積極的。水面下を含めて交渉中であ

る。来年3月までには形が出来上がるであろう。合併は可能であると思う。

しかし、職員の知識不足は著しいものがある。配属された部署における専門知識がない者が目立つ。月給をもらうということは、対価として職務遂行能力をもっていることが大前提である。

役所は学校ではない。自分で、自宅なり図書館なりで専門知識を身に付けるべきである。また、研修機関もあり受講などをさせてもらっているのが現実だろう。

私の経験では、若い職員の中には本来知っておかなければならない最低限の知識が身につけていない者がいる。責任者の上役に話したら「申し訳ない」ということだった。とにかく、能力アップに力を注ぐことだ。

政令都市に形はできても、遂行能力が十分なのかと聞きたい。一朝一夕には能力の達成はできないが、自分の守備範囲のことだけは、知識を高めて欲しい。

公務員に対する職務上の不作為、あるいは職務怠慢など、市民等からの懲戒処分の申立て制度がないのである。犯罪を犯したという理由等により、懲戒処分を受けることはあ

(株)馬場総合鑑定所、不動産鑑定士、シティプランナー

馬場 勉

るが、職務執行・遂行上の問題行為を市民等が弾劾できないことになるから問題だ。

警察に監察課があるように、岡山市にも市民からの苦情に対応する担当部署を設置したらどうか。仄聞では、市民から苦情の電話などが、結構あるらしい。どのような処理をされているのでしょうか?問題提起に対する対処等を公開したらよい。

職員をつまらぬミスで書類不備となったにもかかわらず、時間上の都合などで市長専決することが多くなった。議会軽視だという思いが根強くなり、議長・副議長の人事騒動にまで発展し、混乱も極限に達した。

大器晩成型の市長にとっては試練と受け止めて足元を固めるようにすれば「禍を転じて福と為す」ことになってめでたしめでたしと思う。私は、市長就任から6年間ですぎたこのあたりで、職員の勤務姿勢を見直すべきであると考え。

要は、職員が勉強すること、一度発言したらコロコロ主張を変えて言い訳をしない行政行為であること、若い職員に勝手な判断をさせないことなどの、厳しい対応が必要だ。岡山市が立派な大きな都市になるための天与の試練である。(17・8・4)

夏本番。じっとしていても汗をかく。温度を下げないのも理由はあるが、反面、パソコンをはじめ熱を発生するものが多くなった事務所では、部屋が高温になって体の調子が狂い、能率があがらず、事務処理低下が心配される・・・。

「男を女に、女を男にすることができないだけ」で何でもできると、かつて(亡)総理大臣は言ったそうだが、小泉総理の殺気だった言動や顔の表情から、権限を集中させると危ないと危機感を持った。戦争時の「一億一心」は困る。今こそ、冷静な判断を。

ところで、上記の親善旅行において我が意を得たことがある。信号機が道路の真ん中に吊るして設置されていることだ。日本のように道路脇や地面に表示するよりは、目の前に吊るした方が、認識度が高まり交通事故が少なくなる。私の以前からの考えに合致するため。

男49才の決断！ 萩原前市長の心理分析考

（株）馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

9月に入り、大型台風が来ている。昔からのことわざ「二百十日、二百二十日」を思い出した。今年も残り4ヶ月足らずになった。

1. 自然の恵みに感謝

今年の夏は暑く、雨が少なかった。てきめん、小粒だが甘い果物が秋の天与の贈り物となった。自然には勝てず正直である。

極東ロシア（ウラジオストクやユジノ・サハリンスク）に視察旅行（特集を参照してください）したときに感動したのは食事がうまかったことと美人の若い人が多かったこと。特に野菜がおいしかった。野菜嫌いの人も必ず食べるであろう。

私の考えるところでは、無農薬栽培でおおらかな大陸的な国民だから完熟するまで採集しない。粒ぞろいではないが、形状などは気にしない国民性が影響しているのだろう。日本のように農薬をふんだんに使い、粒ぞろいの形状を考え早期にもぎ取って収益性を高めることに熱中する限り、おいしい野菜や果物はできにくいかもしれない。

極東ロシアから輸入したら結構いけることは間違いないと思う。中国産に偏らず是非一考されてはいかがでしょうか？

2. 人生を楽しもう！

国内でも国外でも同じだが、特に外国へ旅する場合は、時間とお金があるだけでは十分ではない。出かけることのできる「環境の整備」が必要。戦時中の言い方をすれば「銃後の守り」が大切。

例えば、年寄りがいて動けなかったり、専門職のため事務所をあけることができないとか、さらには体が健康であることが必須。足腰が弱いとか、病気で食べるものに制限があれば、楽しい旅はできないであろう。要するに何事も出来るときにすることだと思ふようになった。

ある人曰く「時は何人をも待たない」「昨日は過去の歴史」「明日はミステリー（何が起きるかもしれないぞ）」「今日という日は天からの神の贈り物」「時計は時を刻んでいる」「今日という日を最大限に生きよう！」と。私もそう思うようになった。

結論、「あなたが思っているより、あなたの人生は終期に迫っているんですよ。楽しみなさい！」ということになりますか・・・。

3. ファンは誠実を愛す

萩原前市長の突然の行動には、人によってさまざまな見方があった。

私は正直なところびっくりした。しかし、冷静に考えればそれでよかったのだと思うようになった。男40代と50代では随分認識・評価に違いがある。

50代になって国会議員になった場合、その他大勢でうずもれてしまうだろう。しかし、40代であれば、将来ひとかどの人になれる期待がある。本人が千載一遇のチャンスだと思ったことも理解できる。潜在的に前向きな考えがあるところに誰かに肩をおされてその気になったというところが本心だろう。

反面、岡山市政の面からみれば、議長・副議長が代わったため、議会対策に心労が重なる。また、山積する政策に市長独自の方針が表明できず、行き詰まっていた面も見逃すことができない。

6年半在籍してほころびが表面化し、制度疲労がめだっていた。丁度、交代の潮時がきたともいえる。市長が代わる方がよい時期でもあったといえる。従って、選挙に1億円余かかるとしても岡山市政にとってはかえってよかったことかもしれない。新しい市長の強力なリーダーシップで岡山市100年の大計を図ってほしい。

政治に関する限り国レベルでも市レベルでもファン（国民・市民）は誠実な政策の実行を期待するものです。忘れないで下さいね。

(17・9・5)

9月11日を以って「小泉劇場」は終演しました。結果は、自民党の圧勝でした。マスメディア対策をしっかり行なうように実力を養成することが、これからは大切だと痛感しました。従来型の選挙は、すでに終わったようです。岡山県の方はバランス感覚に優れていると思います。自民2、民主2、無所属1、の割合で当選されていますから。

さて、本命の市長選が始まります。1ヶ月弱の短期決戦です。岡山市の100年の大計の夢を熱っぽく語ってくれる人はいませんか・・・。

10月より本誌「Vision岡山」は週刊誌になります。私と赤枝先生とで輪番で執筆することになります。10月3日号（毎週月曜日発行）は私が書きます。

2週間に一度の割合でリズムよく思ったことを率直に書きたいです。

平成17年9月13日 馬場 勉

地方の政党は、深刻な分裂状態 離合集散は、珍しくないが・・・

俣馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティアプランナー

馬場 勉

朝夕は、しのぎやすくなりました。
今年は3ヶ月を残すのみです。

1. 週間誌に衣替えです

本誌は、毎週月曜日に発行されることになりました。赤枝先生と私が交互に書くため、年間約25回執筆することになります。思い起こせば平成3年5月から始めて、ようやく約300回書いたことになります。約15年間皆様にかわいがっていただき、今日を迎えることになり感謝感激。赤枝先生のお年まで書けるとすれば500回あります。合計800回です。1000回達成という事になれば、90才頃まで元気でなければなりません。横綱が“一番一番”に集中して自分の相撲をとるだけといった言葉が思い出されます。私は各回に全力を尽くし、魂を入れたいと思います。

歳をとったため少し人柄が円満になったのか、あるいはまわりに知った人が多くなったためか、執筆の勢いが鈍ってきたと言えなくもないのですが、昨日までは私のヒストリー(歴史)であり、将来はミステリー(何が起こるかわかりません)。“ただ今”の自分の考えを表現できることの幸せをかみしめて懸命に書きます。自分史の一ページでもありますから。

とにかく行けるところまで情熱を込めて継続することが力となり、楽しみ

に読んでくださっているファンの読者皆様様の期待をうらぎらないようにしたい。お気づきの点がありましたら遠慮なくご教示ください。新体制の始まりにあたり、重々よろしくお願ひします。

2. 何事にも驚かないぞ

昨今の政界において、今年ほどドラマティックに変化した年は少なかったように思う。世界も日本も歴史を紐解けば、権力闘争の飽くなき繰返しであった。歴史を学ぶ利点は、その時々の人達がどのように事態に対応してきたかを学習することにある。「おごれる者も久しからず」とはよく言ったもので、昔も今も変わらない。

これから、どういう方向に日本が進み何が成果として結実するかを見守りたいものです。将来の歴史の評価を待ちたい。小選挙区比例代表並立制の今回の選挙では、自民は民主の約1.3倍の得票率だったのに4倍の議席を得た。本当のところ国民の声が正確な当選人数として反映しているのかという疑問も生ずるが・・・。

気になるのは、都会と地方の人口構成割合の変化による現役勤労者たちの物の見方の変化です。すなわち、都会人は“ふるさと”を持たない人が多くなったということです。おじいさんは、

例えば岡山県の山奥の出身だとする。本籍地も田舎にあるが、孫は行ったこともないし、岡山なんて知らない。お父さんは何度か葬式・墓参りや親族の結婚式などで帰岡したが、昨今は代替わりして交際も途絶えがちになってきた。田舎の墓は荒れて無縁仏になってしまった、という定番のストーリーになる。

そこで、何が問題かという孫の代の人にとっては、自分たちの払った税金が行ったこともない岡山の田舎の橋や道路に使われるのはたまらないという錯覚におちいりやすく、地方切捨てということになる。私はこの都会人の考えは浅はかだと思う。田舎の支えがあるからこそ都会は成り立っているのだ。

とにかく、将来は、さらに一層このような国民の思考傾向が強くなるであろう。岡山県選出の衆・参議員さんは13人と多い。なかには刺客として送り込まれた都会育ちの女性もいるようだが、岡山の田舎で育った萩原さんを始め、その他の人たちはしっかり地方のことを応援し支えてほしい。

ただいま岡山市長選で岡山市は大変です。各党の地方議員さんは分裂状態。罪深いことになってしまった。市長選後には大幅な再編成があるでしょう。(17・9・22)

台湾の新竹市及び台北市に行き、昨夜(10/3)帰りました。市議会議員の先生たちは選挙のためキャンセルされたので、少しさみしさもありましたが、友好親善のお役に立てたと思います。(財)交流協会台北事務所(大使館の役割をしている)の次長市川隆治さんから最近の台湾情勢をお聞きし、参考になりました。

ところで、来る9日(日)に岡山市長選があります。短期決戦で燃えなければ岡山市はよくなりません。「浪花節だよ人生は」を地で行っている、誠実な涙もろい「たかや茂男」さんは、私の兄貴分のような存在感と行動力のある人です。差し支えがなければどうぞ「たかや茂男」さんの人生最後の市長としてのお勤めをまっとうさせてあげてください。岡山市は絶対よくなりますから。よろしくお頼みします。

「官」から「民」への改革を 岡山市長選が選択した方向性

(株)馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー

馬場 勉

朝夕は、寒いくらいになった。秋に向かって一日一日深まっていく。

1. 選挙活動から学ぶ

たかや茂男さん68才。孫の守りを見ている人が多い中になって、多くの人達が岡山市の将来を託せる適任者として担ぎ出した人である。

当選したことにより岡山市は絶対によくなると信じている。私はかなり前から面識があり、俗に言う「馬が合う」。私が、高谷さんの立候補を知ったのは極東ロシア視察旅行中(8/26)で、ウラジオストクにいた時に事情通から聞いた。即座にそれはよいことだ、是非、「火の中水の中」の気持ちで応援すると話し合ったものであった。投票日まで約45日前のことだった。超短期の選挙戦で準備が間に合わず、いらいらした。

最初の頃は、これで選挙になるのだろうかと思う人もいた。日を増すごとに体制が整い、大型選対として体裁を整えてきたというのが真相だ。100m競争に例えれば、出遅れであったが、最後の70m位からゴールに向かって一気にダッシュして大差をつけてなだれ込んだ。

女性陣の活動が大きかった。一票一票の積み重ねである。一人の人が出来る集票能力はたかが知れている。女性陣の口コミによる名前の売り込みと活

躍は評価される。公明党の最後のサポートは大きかった。やはり、組織力と機動力はすごさがある。

自民党は分裂状態であったが、政治を志す先生は、風がどの方向に向かって吹いているのかを察知かつ判断し、先を読む能力が要求されるように思うが、いかがでしょうか?ただ、最後まで操を守って支援し、信念を貫いた先生たちは敗北だったとしても心意気は高く評価されるべきだろう。

ただ、選挙は勝つか負けるかのどちらかである。最大のイベントである。勝負事の好きな人は選挙が好きだろうと思う。選挙体制が整うに伴って、雪だるま式に支援の輪が広がった。間違いなく最後の投票終了の瞬間まで集中力と緊張感を持続できることが勝利への方程式だ。

風見鶏ではないが、終盤になって勝ちそうだと思われる陣営に顔を出した人もいるようだ。極端な人は当選祝いをしている会場にきて握手をするちゃっかり者もいた。しかし、井戸を掘った人たちは、人物評価しているから調子のいいのも困る。表に出ないが地道に下積みのサポートをしてくれた人達がいかに多かったことか、その人たちに感謝したい。

選挙を通じて思ったことは、まさに

濃縮された“人生劇場”である。私は、当日神社に当選祈願に行き、当選したことがわかった時は涙が出た。高谷さんは、苦勞人でハングリー精神があり、経営手腕がある人だから、市政の重責を勤めあげることができると確信している。

2. 岡山市が好きです

「岡山市が好きだから市長になって頑張る」と話されていたが、その気持ちが支えになって激しい選挙戦を戦えたのだと思う。行財政改革とまちづくりが最重要課題。

例えば、岡山市市民病院を取ってみても複数の窓口があり話が前に進まないのである。私は「まちづくり推進局」を新設して各部局から人を集めて特定の案件について検討し、推進させる。仕事が成功すれば、その部署を無くす。必要に応じて特命事項を研究・検討する部署を全庁あげて横断的にやることだと思う。

職員が専門的なことはもちろんだが、常識を働かすことだ。政令指定都市になった暁には、真価が試されるから、今のうちに実力養成することと気持ちの入れ替えをすることだ。いずれにせよ、市長の交代により能力のある者が適材適所に配置される、行政機構になる必要がありそうだ。(17・10・11)

この度は「高谷茂男」さんの選挙にご尽力を賜り、誠にありがとうございました。お蔭様で当選させていただき、既に岡山市長として職務に専念しています。事務引継ぎなどで多忙な毎日のように漏れ聞いております。重々お礼申し上げます。

これからは、秋本番になります。紅葉の見ごろは少し先になりますが、博物館・美術館などは特別展など賑やかです。鑑識眼を高めるために足を運んでみましょう。

週刊誌になってから書くペースが速くなりましたが、一定のリズムを刻みながら執筆する方が、仕事の中に溶け込んで能率がよい面はあります。種切れにならないように、世の中の動きを注意深く観察し、把握するようにいたしますので、乞うご期待。

平成17年10月17日 馬場 勉

市役所の動きが急だ

高谷新市長の言動に触発された!

(株)馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー

馬場 勉

久方ぶりに岡山後樂園に寄ってみた。寒かったが新しい発見に感動を覚えた。いいところだと見直した。

1. 分相応が大切

戦前のことは、実体験がないので歴史認識についてはよくわからない。国際関係をうまくいかせるためには、あまり仲たがいににならないようお願いしたいものです。

小泉総理が靖国神社に参拝された。小銭(1円から500円玉まで)を取り出して賽銭箱へ投入したのを見て、総理大臣はパフォーマンスの好きな人だけに国民は一挙手一投足を注意深く注目していることを忘れてほしい。

小銭では不相応だろう、少なくとも1万円札を財布からおもむろに出して入れて欲しかった。祈願の内容に相応したお賽銭でなければ神様はそっぽをむくのではないかな? 私だってお願いする内容の重要度に応じてそれなりのお賽銭を静かに投入している。

国民に模範を示していただきたいものです。月給に応じたお勤めが大切です。世の中は分相応に寄付金などに応じているのが通常ですから……。金持ちは“けち”だそうです。やはり小泉総理は資産家なんだ。

2. 真の行政改革とは

行政も財政も行政機関の人間がやる

ことだから、職員の気の持ち方で変わるはずだ。岡山市長が高谷さんになって俄然市役所の職員の意識に変化が見られる。

就任後間がないのに担当者が行政改革について話を聞きたいと、私のところを訪問された。民間人の考え方を尋ねるのはよいことだ。公務員は稼ぐ必要がない。予算を過不足なく執行すればよいのだから、楽といえば楽である。

そういう中に民間企業の手法を取り入れて市民に最大のサービスを提供しようという方針に大転換したのだから、さぞかし職員にとっては大変でしょうが、意外と市長の方針がすばやく受け入れられる柔軟な体制のようである。反応がすばやく早いのはいいことである。

行政改革という点では職員の能力を発揮させるための勤務評価の手法を多数人による複眼的評価方法を採用することだと思う。外部の人も参加した客観的人物評価ができるようにすることだろう。

また、私が主張するように窓口を一つにしたプロジェクトチーム方式を採用し特命により、問題を検討・研究・たたき台を作成させる。企画局を“まちづくり推進局”に改組する。機構改革は当然必要になる。民間人を積極的

に取り入れた審議会等もほしい。

財政改革については、入る金は先細りの感がある。しかし、仕事はしなければならぬ。そこで、現在の財政の問題点の把握から勉強しなければならない。

アルバイトを各部署で採用しているが、一人三役をかざすかぎり原則的にはアルバイトを廃止すればよい。年間かなりの経費が浮くのではないか。経費節減のため臨時雇用や人材派遣などは極力減らすことだ。

さらに、幹部が乗る公用車は一日一日の借上げタクシーにするようにしたらどうか……。何もお抱えの高級車に乗らなければ威厳が保たれず恰好がつかないということはない。

とにかく、当面は市民の目にみえる形で経費を減らすことである。既に、5%の削減予算を打ち出しているのだから、いろいろな無駄を省く方策を考えなければならない。新規事業は是非今まで以上にやってほしい。

たしかに人手の必要な部署もあるから余裕のあるところからの流動的な人員の移動が早急の課題である。またIP電話の導入により電話料金的大幅削減に努めるなど、知恵を働かせればいくらでも節約できる余地はある。

(17・10・25)

11月に入ったとたんに、急に冷え込んだ。カレンダーが送られてきた。今年も2ヶ月足らずになり、気ぜわしい年の瀬を迎えつつありますが、お変わりございませんか。

昨日の第3次小泉改造内閣で、郷里岡山1区から選出されているイチローさん(逢沢一郎)が自民党幹事長代理に内定されました。めでたいことです。これからの地方政治は、岡山市長をはじめ地元の公務員や政財界等の人達が、岡山をよくすることだけに専念し、中央官庁等との接触が必要な時はトラさん(片山虎之助)やイチローさんに頼めば、大抵のことは中央との連携が出来て事が運ぶと思う。イチローさんは議員さんの中では私を「先生」と呼んでくださり、評価してくださっていると思われる唯一の人です。将来が大いに期待される人です。

平成17年11月1日 馬場 勉



立冬・寒くならない秋本番

日本の四季が狂い始めた？

瀬馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー

馬場 勉

「そうだ、京都へ行こう」というキャッチフレーズは言い得て妙なり。京都を岡山におきかえられるように、岡山の観光資源の発掘と売り込みに連携を。岡山はいいものを持っているのですから・・・。

1. 花は語らず

花は語らず//

花は静かに咲く/そして黙って散り行く/人に賞められ/されぞ ござらず

花は語らず//

花は黙って咲く/そして静かに散り行く/人世の姿/写すが如くに/

大徳寺塔頭 黄梅院住職 太玄禅師

意味深長ないい言葉です。味がありませんね。

2. 地球温暖化

私達の子供の頃は、11月といえば寒かった。岡山は空っ風が吹いた。朝、押しくらまんじゅうをして体を温めてから授業をはじめたように記憶している。しかし、昨今は秋の訪れも遅く、紅葉はまだ先のことらしい。きれいに色づくかどうか、心配している観光地も出始めている。

最大のエネルギー消費国のアメリカ・中国が京都議定書に調印しないというのは納得いかぬが、自国の利益を優先しているのだろう。日本は人がよすぎるのだ。もっと強く主張して欲しいものだ。

いものだ。

ところで、岡山も例外ではなくタクシーが自由化により、かなりダブツイテいるらしい。そのうち損益分岐点を割り込み、営業が成り立たなくなって、自然淘汰されるだろう。

タクシーは、待機中も冷暖房をつけて温暖化に拍車をかけている。駐車しているだけならエネルギーの無駄な消費もなく、熱の発生もないが、待っているタクシーはいずれもエンジンをかけているので資源の浪費にもなるし、熱を発生し温暖化と大気を汚染している。利用度に応じたタクシー台数の総量規制も必要かも知れぬ。運転手さんの新顔参入があるためか、場所を知らない人もいなど困ったものです。何とか名案はありませんか？稼ぎはなかなか厳しいようで、生活が維持できなくなるでしょう。

3. 国指定史跡の保存を！

私は、寺社仏閣や古代遺跡など考古学等を見聞するのが好きで興味がある。国宝や重要文化財といえば、国民に閲覧させる義務がある。史跡は移動させることは出来ないが、整備してそれぞれ維持管理し、史跡公園などにする必要が生じる。

国が指定するという事になれば、同じ史跡でも重要かつ貴重で価値がず

っと高くなる。岡山後楽園は特別名勝で国宝級です。岡山には古代山城跡の国指定の史跡は、総社市の鬼ノ城及び今春指定された岡山市草ヶ部から瀬戸町に連なる標高200mの小高い山に囲まれた地域で、規模的には鬼ノ城を上回る古代山城である大廻小廻山城跡(おめぐりこめぐりさんじょうあと)の重要文化財級の2つがある。

文化財的価値の高さは国が御墨付。ヤマト朝廷が吉備の地を守らせるために作った7世紀の古代山城である。

マスコミなどがすでに報道しているところだが、当該山城跡地域は開墾されたり産業廃棄物の処理場になったりで人の手が入っている。直ぐに荒廃を食い止めないと後の祭りになりかねない。「後悔先に立たず」ということを肝に銘じて岡山市は指定地内の買収を急がないといけぬ。国は土地取得費の8割の補助をしてくれる。

岡山に貴重な山城跡が備前と備中にあることはうれしく喜ばしいことだ。岡山の長期ビジョンのまちづくりの一環であり、整備ができ一般公開されるまでには20年の歳月がかかる。先の長い話ではあるが、対応を急がねばならない。

(17・11・7)

秋が深まり紅葉の最良の時候になった。どこかへ行ってみましょう。文化の香りを求めて、近場だったら岡山デジタルミュージアム(岡山駅西口すぐ)の「新シルクロード展」がよい。正倉院展に匹敵するような国宝級の文物が多数身近で見られる。

職業冥利を感じた。岡山市西大寺の新産業ゾーン全区画の企業立地が決定したと新聞の記事をみたからだ。思えば、経済局から企業誘致が思うようにいかないが、よいアドバイスをしてほしいとのことだった。そこで、定期借地によるリース方式を採用したらいいのではないかと進言した。前萩原市長は私の考えを取り入れた。18区画全てがめでたく立地・操業することになった。重要案件と位置付けられた企業誘致の推進に少しでもお役に立てた事は嬉しく、本当によかった。

平成17年11月14日 馬場 勉

公共事業の見直しを 箱物は慎重に再検討を

やはり、秋が深まると寒くなった。年末も間近。年始は静かに家で過ごすのもよいかも・・・。

1. 桃太郎ぶどうをご存知?

岡山武蔵倶楽部(岡山に転勤で赴任されている支店長等と地元企業の社長と交流の場)で話題になった。地元の私は知らなかったが、支店長さんクラスともなれば、かなり高額ないぶどうを食べているとみえて、知っている人が多かった。

桃太郎ぶどうは、最近売りだして話題になっているものらしい。知らぬ者は地元の人だけかと思いきや、あなたが知らないだけでしょうと言われる羽目になりショック。テレビで紹介されたそうで、全国ブランドになりつつある。

グザルカラとネオマスカットを交配した超高級マスカットだそうです。粒形が桃にそっくりなため桃太郎ぶどうと名づけられた由。露地栽培もできる画期的品種のため、そのうち岡山の一般庶民の口に入るようになれば大変結構な話ですが・・・。

ところで、食事に行くところの話。単身赴任者が多いのと、景気が回復して交際費がたんまりあるらしく、あちらこちらの飲み屋さんや食べ物屋さんの名前があがりました。残念ながら割

烹や料亭のたぐいは影をひそめていました。

岡山には京都や金沢のような料亭文化が残念ながらないのです。外国のお客様がみえても日本料理より外国料理等でもてなすなど、ここはどこの国でしようかという雰囲気なのです。岡山においでのお客様には、岡山の料理がよろしいようです。

なお、岡山武蔵倶楽部に入会希望の県外企業等の方は、岡山商工会議所振興課にお問い合わせください。現在200社余が入会し、女性会員は約1割強いらっしゃいます。岡山ライフを楽しみたいならば、どうぞ門戸を叩いてみてください。

2. 事業の変更も視野に

新市長の高谷さんは、行財政改革に取り組むことを公約して当選。決定済みの事業でも岡山市の将来ビジョンを思い巡らすときに、稼動中のものも含めて見直して事業からの撤退を推進した方が、長い目で見れば得策と考えられるものもある。

例えば、市長のビジョンでは、中心市街地活性化の目玉として、西川緑道公園の整備をあげている。県外から来られた人にとっては、大変な魅力ある親水性のある緑地地帯。緑の少ない岡山中心街に、うるおいのある西川を活

用した親水性に富んだ、札幌の大通り
に匹敵する公園を造ることを10数年以上
前年から提案しているが、一向に進ま
ない。

馬場 勉

用した親水性に富んだ、札幌の大通り
に匹敵する公園を造ることを10数年以上
前年から提案しているが、一向に進ま
ない。

私の考えが変わりつつある。西川緑道公園に隣接する元出石小学校跡地を、PFI手法によりマンションや健康増進施設等にする計画が決定しているが、契約前の段階らしく一向に着工の槌音は聞かない。ここで思い切って箱物を作る計画をご破算にして、日比谷公園のような都市公園としてみんなが集い、観光客も休憩がとれるところにした方がよいと思うようになった。

今からでも遅くない。岡山ビジョンの中心的な位置付けの一環として、今の計画を中止して都市公園へ転換をはかるのが最良だと思う。ある程度の損害賠償が生じたとしてもだ。土地はもと岡山市のものだから、造成費程度で建築可能である。その他、いくつかの公共事業についても既成事実の変更の必要はありはしないか。

少子高齢化の時代には、心豊に暮らせる仕組みと仕掛けが大切だ。市長交代のただ今がチャンスだ。予断をいれずに岡山の将来を考えて、再度の見直しと検討をしようではないか。過去の具体例(東京都・長野県)としては、事業計画を首長の後退で白紙撤回している。(17・11・17)

もみじ・いちようなどの紅葉は終盤に近づいた。温暖化のためか冷え込みが少なく、寒暖の差が小さいため、鮮やかな紅葉はもう一つというところらしい。しかし、これから秋の果物の類は今が旬である。冬場に向かって「カニ・牡蠣・ぼたん鍋」の季節を迎える。やはり、日本はいいところだ。岡山はもっといいところだから、私も大好きです。

本日から、岡山市11月定例市議会が始まります。高谷市長にとっては、初めての本格的な議会。手腕の程が試される。かけひきなどいらないから、信ずるところを中央突破すればよいと思う。ただ、役所には企業の論理が即当てはまるというわけにいかないところもある。既に、職員は順応が早いから新市長の方針に従って舵を切っているのが現実。しっかりガンバッテ欲しいものです。

平成17年11月28日 馬場 勉

岡山が好きなら岡山の勉強を 岡山文化観光検定試験3級

備馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

寒波がきた。今冬、初めての雪を見た。もうすぐお正月です。

1. 受験体験記

岡大の試験会場。硬い木の椅子と机。何だか狭く感じた。体格がよくなったのかな(肥ったということ)。学生の頃はさほど窮屈には感じなかったのに・・・。

岡山商工会議所が主催の、検定試験の腕試しで、学生気分を味わった。よく存じ上げている実行委員のメンバーの手前もあるから、70点以上取れなくて不合格だったら恰好悪い。「やさしい問題だが満点は取らせない」と意気込む主催者。50問中2問落としただけなので、正解48問で96点を確保できたようだから、まあいいか。お互いに面子がたった。満点でなく、かつ検定合格ということで引き分けという事だった。満点を取るためには今回勉強した数倍の努力をしなければ無理だろう。最後の1問を確保するためには、裾野が広い知識が要求されるから。

参考書が販売されている。県民誰しも体系的に岡山のことを学んだことはない。断片的かつうわつらの知識である。一読してみても知らなかった事実も多く、岡山を知る上で勉強になった。来年2級、再来年1級と続く。来年以降は難しくするとのことだから、ふん

どしを締めなおしてとりかかる必要があるだろう。受験者は1062人(応募者1170人)。11歳から87歳まで年齢層は広い。県外は25人応募(24人が受験)した。一般教養をつけるという面からの面白さもある。なお、満点が10人余、70点以上の合格者が8割以上かと推定される。皆様よく勉強なさっていた。

岡山のなりたち(歴史・文化・祭など)の全体像をつかむことは大切なことだ。自分の郷土のことをまず知ることが、岡山を好きになる出発点だ。私がこの検定の話しをすると、興味を示す人が多い。飯の足しにはならぬが、話しの種にはなる。物知りぶりを披露するのもいい。座輿に一席をぶてば人気者にもなれるでしょう。参考書や専門書を読めば、知識欲も深まり人格形成に役立つかもよ。そうなるかどうかの責任は持ちませんが・・・。

2. 今年を振り返って

この号で私の今年の担当は終わります。26日号と新年号は合併されるため、新春からお目にかかることとなります。今年はどうでしたか?色々あったようにも思いますが、長い日本及び世界の歴史から見ればたいしたことではないが、無視することは出来ない。日本が大きく変わる転換期の要の年でもありました。

小泉総理の改革を通じて国民の気持ちはかなり変わってきたと思う。従来の体制が有無を言わず強引に音を立てて崩れていった。それが収穫だったかもしれない。

岡山市を考えれば高谷市長の誕生が岡山の発展のためにどのように影響するか、興味深いところ。役人から民間出身へということで、みんなが注視している。まだ、お手並み拝見というところ。ちょっとした発言が、瞬く間に世間に広がる。人生経験豊かな市長ですが、世の中には七人の敵がいると言われるように、意図的に漏らしていると思われぬ場面もある。限られた市長のまわりで話したと思われることがまことしやかに尾ひれがつき内容が変わって広まるなど、どないなっているのかと思うようなこともある。

世の中は性悪説に傾く傾向にある。役所をはじめ金融機関や各界であまりにも締め付けすぎて、人を監視かつ疑えば精神的に弱い人はまいってしまうのではないかと心配する。昨今の犯罪を見る限り、確かに悪いヤツがいるという考え方の方が正しいような気がする。ただ、弊社では性善説にたち、職員を信用します。

(17・12・6)

今年、3週間弱になり年の瀬が迫ってきました。皆さんにとってどんな年でしたでしょうか?私は、なんやかんや、それなりに忙しく立ち振る舞ったような気がします。弊社の大型カレンダーと3年ぶりに執筆した文筆などをまとめた冊子(A4版100頁)を作製しました。ご利用される方は御連絡いただければご送付いたします。

昨日、日本海岸の丹後方面を観光バスで走ってみました。どんよりした天候、海がかなり荒れていました。

岡山は「晴れの国」だけあって、晴れている日が多く、食べ物も豊富だし、職住も近く、交通の便はどこに行くにも便利。とにかくいいところです。

平成17年12月12日 馬場 勉